

市民の皆さまへのお願

新型コロナウイルスとの闘いに打ち勝つために

川口市長 奥ノ本信夫

令和2年5月22日



▲新型コロナウイルス対策本部会議で

国が発出した、緊急事態宣言もいよいよ終盤を迎える今日この頃、皆さまにもコロナ疲れが出てきていると思われま

私は年頭、多くの新年会に出席させていただくたびに『本当に住みやすい街大賞2020』に川口が選ばれたことにふれ、更なる選ばれる街づくりに邁進すべく、希望に満ちあふれた今年の幕開けを迎えました。

しかしながら、中国・武漢発の新型コロナウイルス感染症という大変恐ろしい病気が中国湖北省で広がりはじめるとい

同時に「日本に広がらなければいいが」と願って

3月初旬から日本も感染が広がり

始め、川口市保健所においてもPCR検査体制がとられてからは、検査数と陽性者数のにらみ合いの日々が続きました。

更に、この緊急事態により、大きな経済的被害を受けることになった川口の中小企業や小規模事業者を対象とした支援金をはじめとした経済的施策、また、この新型コロナウイルス感染症に対応・協力していただいている医療機関・川口市医師会等への支援は、一刻を争う政策と考え、私の責任において議会の招集を待たずに「専決処分」として実施させて

いよいよ1カ月以上に及んだ緊急事態宣言がこの5月末で終わろうとしております。そして、全国における1日の陽性者数、川口における陽性者数も減少し、わずかとなって参りました。おそらく5月末には、こ

の宣言下での外出の自粛、学校の休業、施設・店舗の休業・自粛要請も緩和の方向に進んでいくものと思われ

しかし、これからがまた注意しなければいけません。

北海道を見てください。北海道方式（北海道独自の緊急事態宣言）が全国より評価称賛されたすぐ後、あの3月20日の春分の日を含んだ3連休の油断の後どうなったでしょう？ 埼玉県よりも約200万人人口の少ない北海道の感染者数の増加が止まらず、我が埼玉県の感染者数を超えるまで広がってしまいました。

更に隣国の韓国を見てください。韓国は、新型コロナウイルス封じ込めの「模範」とされ、世界からも、日本からも高い評価をされておりました。韓国では、つい先日パンデミック以前の経済活動が始まったばかり

でした。しかし、5月の連休明けにおいてあの100人以上とも言われるクラスター（集団感染）が発生しました。

川口市もこれを他山の石として、この手ごわい、しかも、したたかなウイルスと引き続き「正しく恐れ」闘っていかねばなりません。それには、いままで頑張ってきたこのウイルスとの闘い方を、市民の皆さま一人ひとりが、これからも気を付けて守り続けなければ勝利はできないと考えております。

言うまでもなく川口市は全国で一番感染者の多い東京の隣、ほぼ東京なのです。油断するとこのウイルスはすぐ、第2波、第3波となり、私たちに向かってくるでしょう。そして、これからこの闘いの主役は国でも県でも市でもありません。川口市の皆さまの総合力なのだと言うことを是非ご理解して下さいますようよろしくお願い申し上げます。